

2014年3月期 第2四半期決算説明資料

決算短信開示
2013年11月8日

1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

2. 2014年3月期 連結業績予想

5月15日公表の連結業績予想から変更ありません

3. 2014年3月期 経営方針/事業重点施策

連結決算ポイント

- 売上高はSSS事業、SIS事業が増収となるもディーラー事業が減収となり、前年同四半期比0.5%減に
- 売上総利益が減少し、販管費の低減に努め減益となるも、利益予想を上回る

売上高

- SSS事業は、コンサルティングサービスが減少するも、セキュリティ対策の需要拡大を受け、運用監視、診断サービスが伸長し増収となる
- SIS事業は、金融機関向け基盤系案件が引き続き好調に推移。公共向け新規大型請負案件の受注や非金融向け案件の受注拡大により増収となる
- ディーラー事業は、IT保守サービスが好調に推移するもHW/SW販売の低調から減収となる

利益

- 事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴うシステム運用費の負担増や、システム開発での一部不採算発生により売上総利益が減少。販管費の低減に努め、営業利益、経常利益、四半期純利益とも減益となるも、利益予想を上回る。

連結決算ハイライト

前年同四半期比

(百万円)

科目	'13年3月期	'14年3月期	前年同期比	
	2Q実績	2Q実績	増減額	増減率%
売上高	14,736	14,665	△70	△0.5
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	2,178	2,248	+69	+3.2
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	5,664	6,017	+352	+6.2
ディーラー事業	6,892	6,399	△493	△7.2
売上総利益	3,020	2,736	△283	△9.4
売上総利益率%	20.5	18.7	△1.8p	-
営業利益	489	386	△102	△20.9
営業利益率%	3.3	2.6	△0.7p	-
経常利益	411	325	△86	△20.9
四半期純利益	178	82	△95	△53.6
1株当たり四半期純利益(EPS)	6円11銭	3円26銭	△2円85銭	△46.6
1株当たり配当金[2Q期末]	4円	5円	+1円	+25.0

連結決算ハイライト

予想比

(百万円)

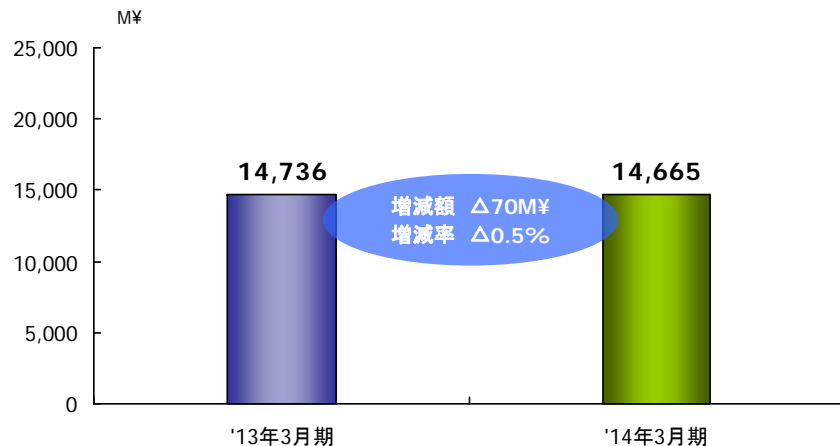
科目	'14年3月期	'14年3月期	予想比	
	2Q予想	2Q実績	増減額	増減率%
売上高	15,405	14,665	△739	△4.8
営業利益	375	386	+11	+3.2
営業利益率%	2.4	2.6	+0.2p	-
経常利益	285	325	+40	+14.3
四半期純利益	65	82	+17	+27.4
1株当たり四半期純利益(EPS)	2円56銭	3円26銭	+70銭	+27.3
1株当たり配当金[2Q期末]	5円	5円	-	-

- 売上高は、SIS事業は受注拡大により増加するも、ディーラー事業のHW/SW販売やSSS事業のコンサルティングサービスが伸び悩み、予想を下回る。
- 販管費の抑制に努め、営業利益、経常利益、四半期純利益は予想を上回る。

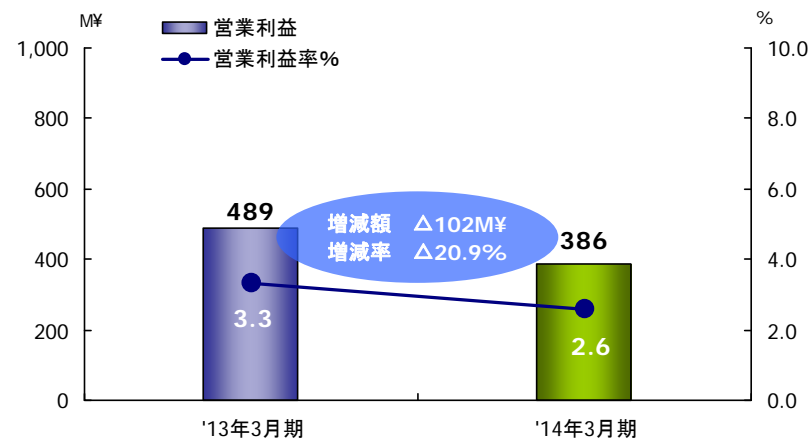
連結決算ハイライト

前年同四半期比

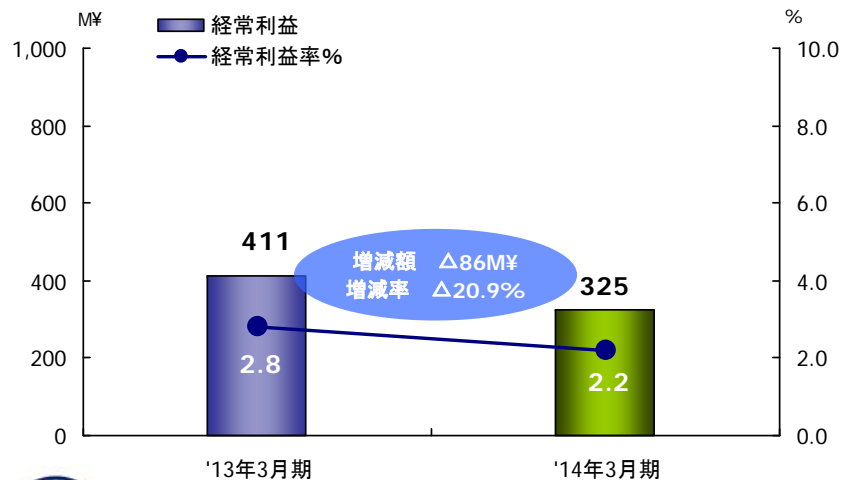
売上高



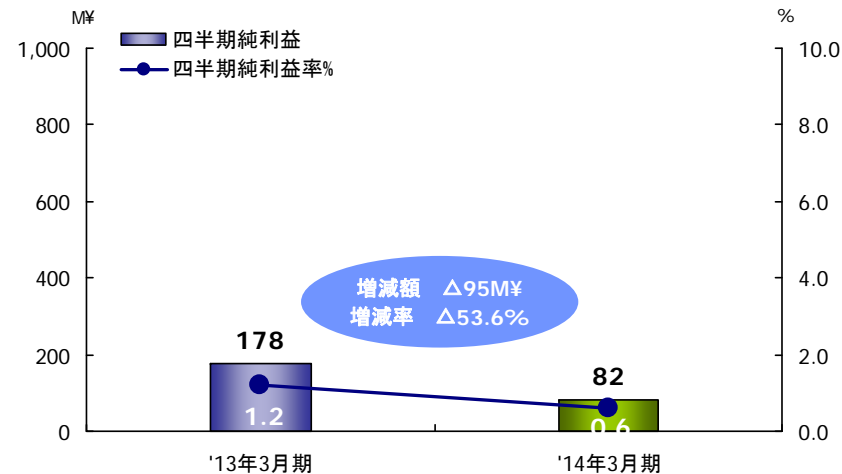
営業利益



経常利益

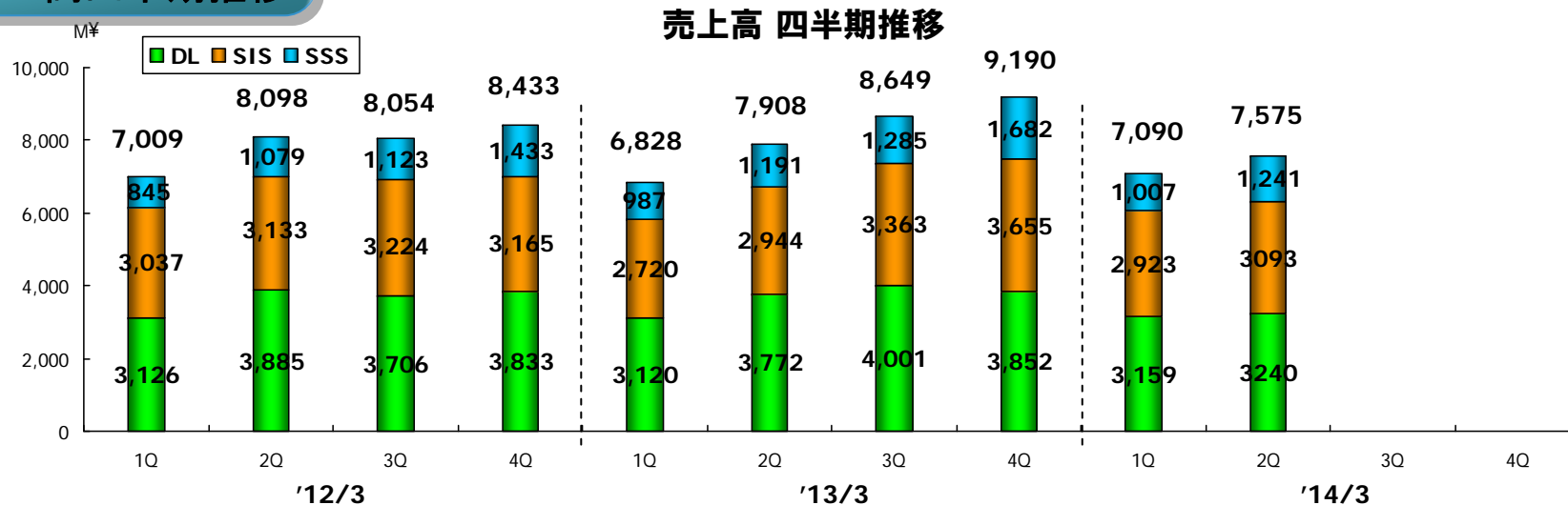


四半期純利益

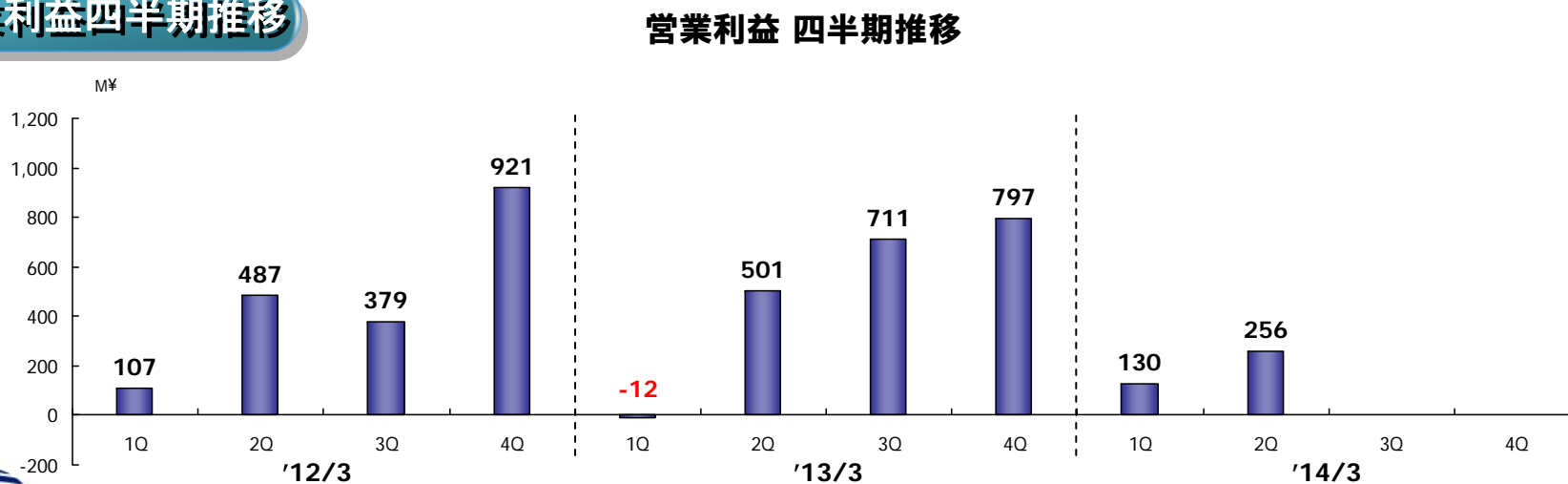


連結決算ハイライト

売上高四半期推移

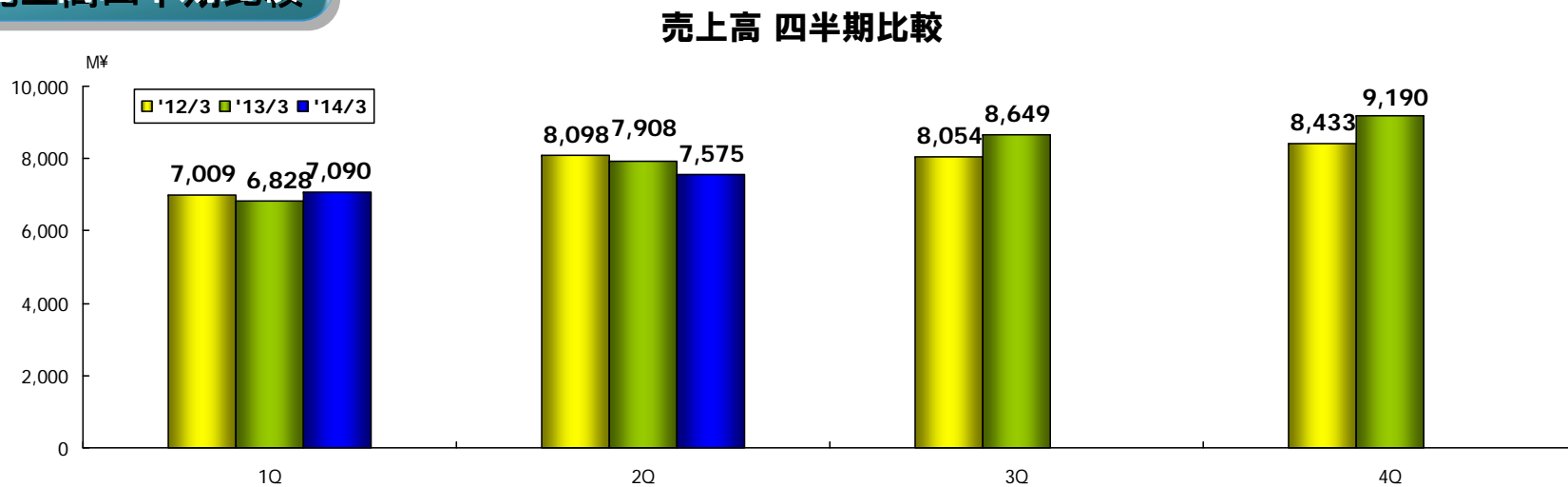


営業利益四半期推移

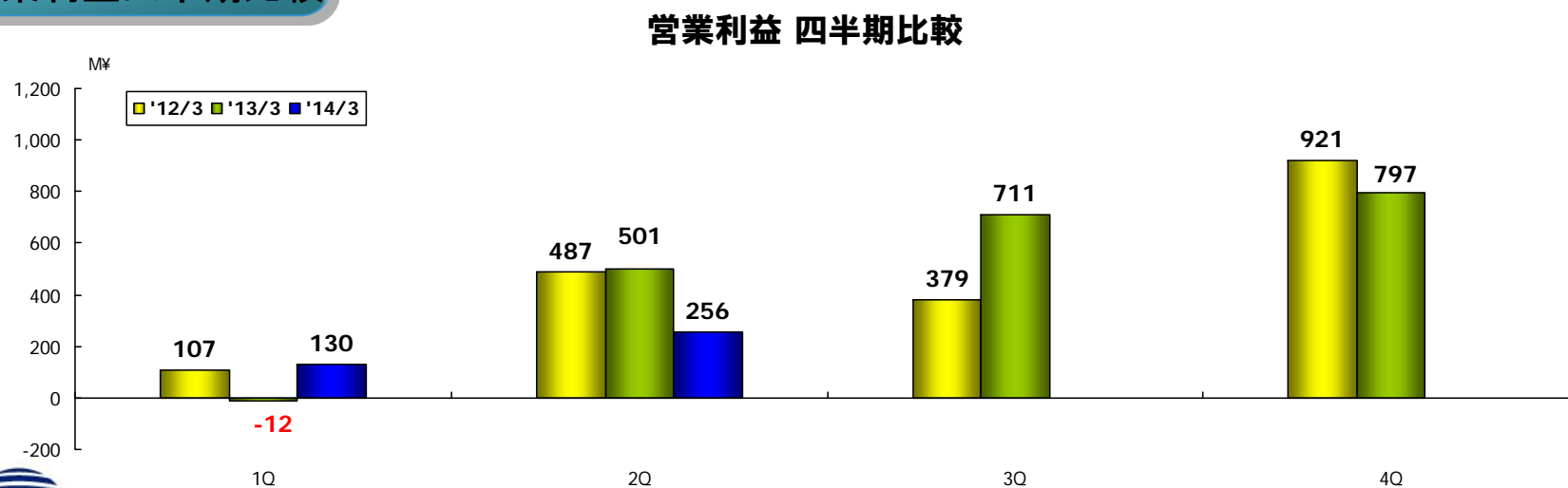


連結決算ハイライト

売上高四半期比較



営業利益四半期比較



連結貸借対照表ポイント

▶ 自己資本比率 前期末比+2.2pの34.2%に

資産

商品の増加、前払費用の増加があった一方で、受取手形及び売掛金の減少や現金及び預金の減少などにより、178億7百万円(前連結会計年度末比14億43百万円減)となる

負債

短期借入金の増加、前受収益の増加があった一方で、買掛金の減少、流動負債「その他」に含まれている未払金の減少、長期借入金の減少などにより、117億6百万円(同13億49百万円減)となる

純資産

期末配当などによる利益剰余金の減少などにより、61億円(同93百万円減)となる

連結貸借対照表ハイライト

前期末比較

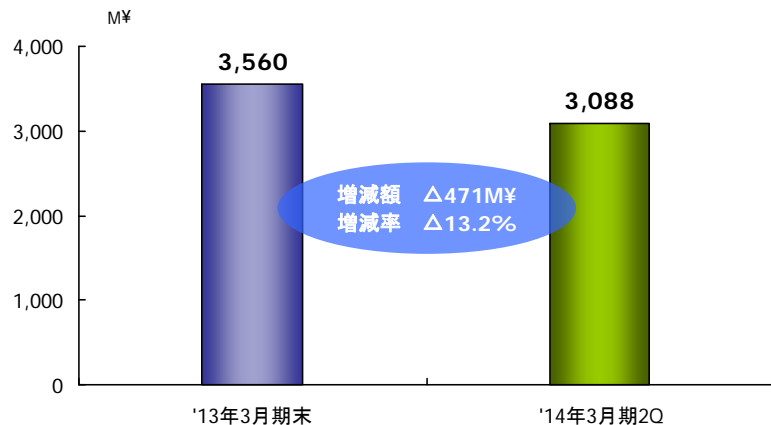
(百万円)

科目	'13年3月期 期末	'14年3月期 第2四半期末	増減額	科目	'13年3月期 期末	'14年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	12,269	11,308	△961	流動負債	9,115	8,819	△296
現金及び預金	3,560	3,088	△471	買掛金	2,054	1,426	△627
受取手形及び売掛金	5,013	3,298	△1,714	短期借入金	200	1,050	+850
たな卸資産	353	1,073	+720	1年内長期借入金	2,031	2,006	△25
前払費用	2,508	3,112	+604	1年内償還社債	100	100	-
その他	834	735	△99	未払法人税等	140	148	+7
				前受収益	2,525	3,126	+600
				その他	2,063	961	△1,102
固定資産	6,981	6,499	△482	固定負債	3,940	2,887	△1,052
有形固定資産	1,026	944	△81	社債	50	-	△50
無形固定資産	4,067	3,618	△448	長期借入金	3,723	2,720	△1,003
のれん	2,447	2,217	△229	その他	167	167	+0
その他	1,619	1,401	△218	負債合計	13,056	11,706	△1,349
投資その他の資産	1,888	1,935	+47	資本金	1,000	1,000	-
繰延税金資産	456	430	△26	資本剰余金	3,622	3,622	+0
その他	1,431	1,505	+74	利益剰余金	1,856	1,736	△120
				自己株式	△331	△332	△0
				その他の包括利益累計額	22	64	+42
				少数株主持分	25	9	△15
				純資産合計	6,194	6,100	△93
資産合計	19,250	17,807	△1,443	負債・純資産合計	19,250	17,807	△1,443

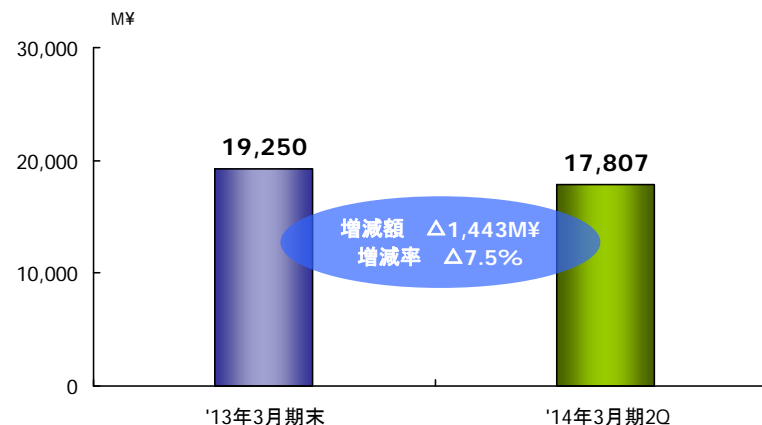
連結貸借対照表ハイライト

前期末比較

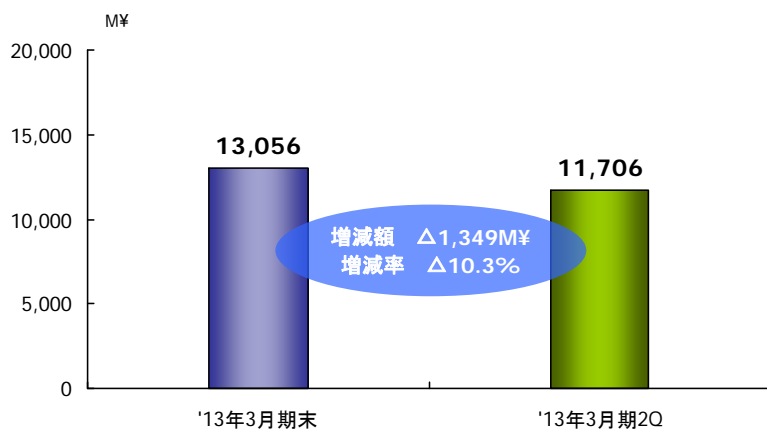
現金及び預金



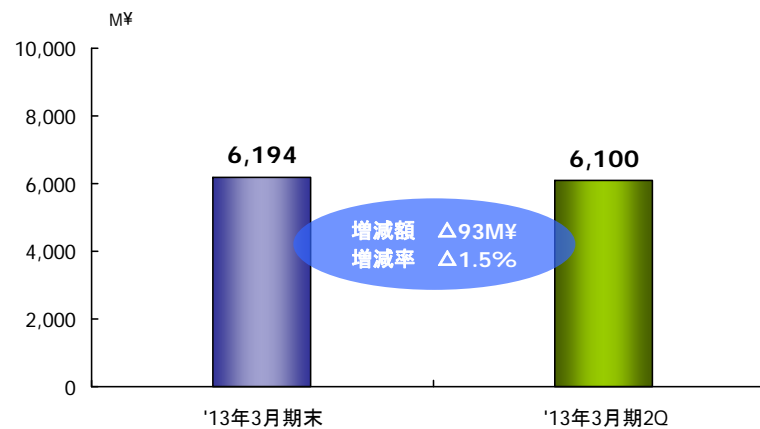
資産



負債



純資産



セグメント別業績ハイライト

前年同四半期比

(百万円)

売上高	'13年3月期		'14年3月期		前年同期比	
	2Q実績	構成比%	2Q実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	2,178	14.8	2,248	15.3	+69	+3.2
セキュリティコンサルティングサービス	901	6.1	701	4.8	△199	△22.2
セキュリティ診断サービス	315	2.1	419	2.9	+103	+32.8
セキュリティ運用監視サービス	962	6.6	1,128	7.6	+166	+17.3
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	5,664	38.4	6,017	41.0	+352	+6.2
開発サービス	5,664	38.4	6,017	41.0	+352	+6.2
ディーラー事業	6,892	46.8	6,399	43.7	△493	△7.2
HW/SW販売	2,923	19.9	2,083	14.2	△839	△28.7
IT保守サービス	3,690	25.0	4,026	27.5	+336	+9.1
ソリューションサービス	278	1.9	289	2.0	+10	+3.7
合計	14,736	100.0	14,665	100.0	△70	△0.5

セグメント別業績ハイライト

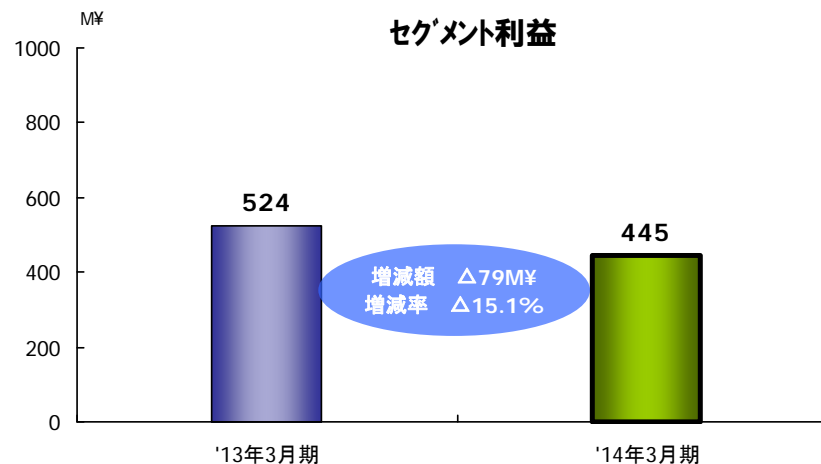
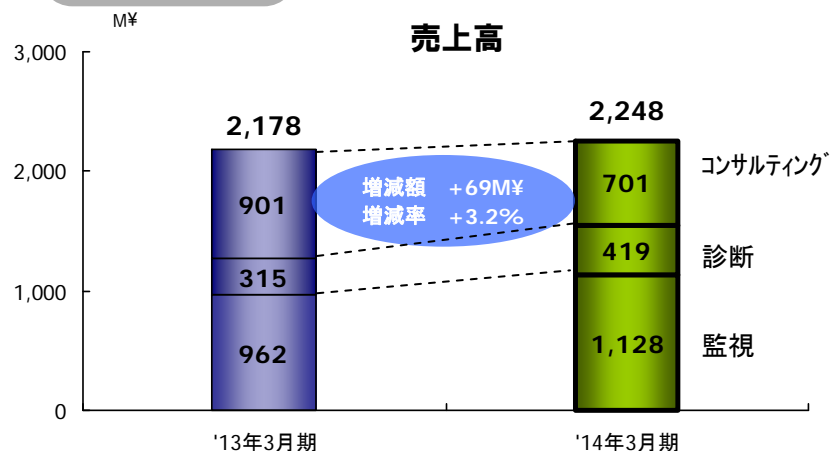
前年同四半期比

(百万円)

セグメント利益	'13年3月期	'14年3月期	前年同期比	
	2Q実績	2Q実績	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	524	445	△79	△15.1
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	907	550	△357	△39.4
ディーラー事業	△4	191	+195	-
消去又は全社(調整額、その他)	△938	△799	+138	-
合計	489	386	△102	△20.9

セグメント別業績ポイント(前年同四半期比)

SSS事業



[総括]

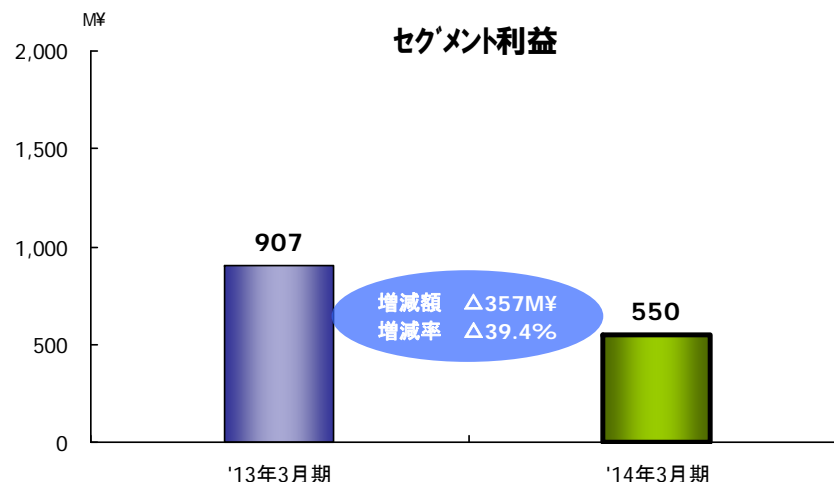
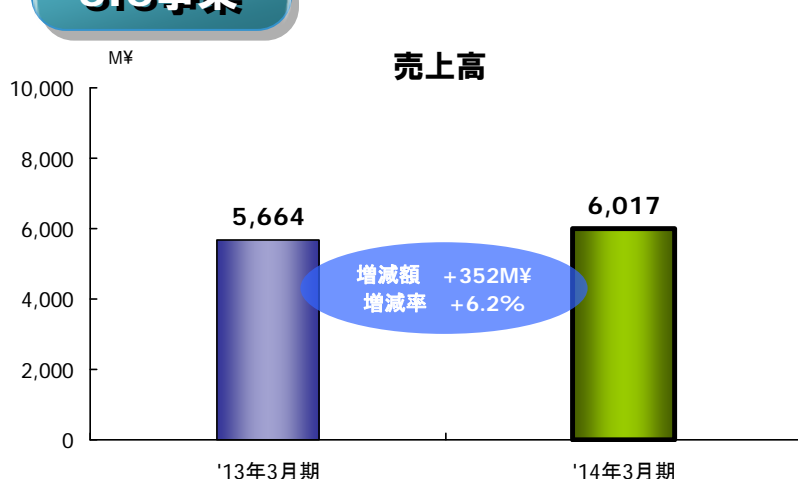
需要の拡大に伴い増収となるも、監視システム刷新に伴う運用費の負担増で減益に

[サブセグメント売上]

- コンサルティングサービス
 - ・ 前年同四半期にあった金融機関向け案件や海外拠点の一部案件がなかったことによる減少
 - ・ 業務内容変更に伴う他事業部門への一部業務移管による減少
- 診断サービス
 - サービス供給体制の強化により、
 - ・ 既存顧客からのリピート案件による受注拡大
 - ・ 緊急対応サービスの提供を契機とする新規案件の獲得
- 運用監視サービス
 - ・ 不正侵入を前提に情報流出を防ぐ対策への需要拡大による新規案件の獲得

セグメント別業績ポイント(前年同四半期比)

SIS事業



[総括]

案件の受注拡大により増収となるも、クレジットカード業向け大型統合開発案件が不採算となり減益に

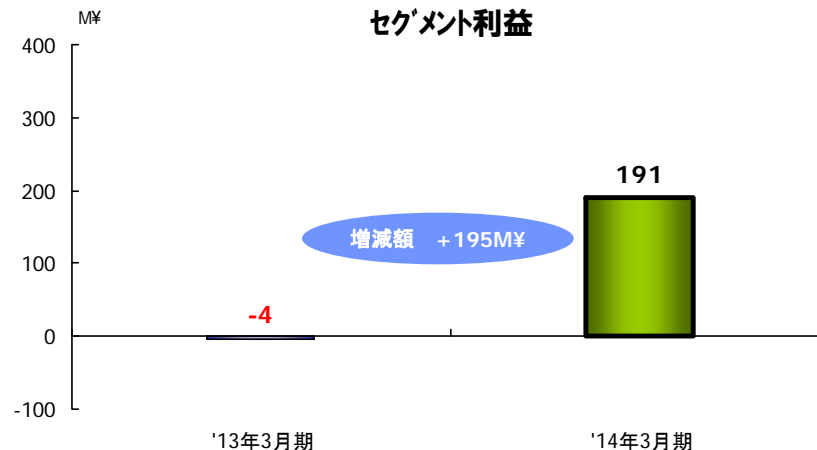
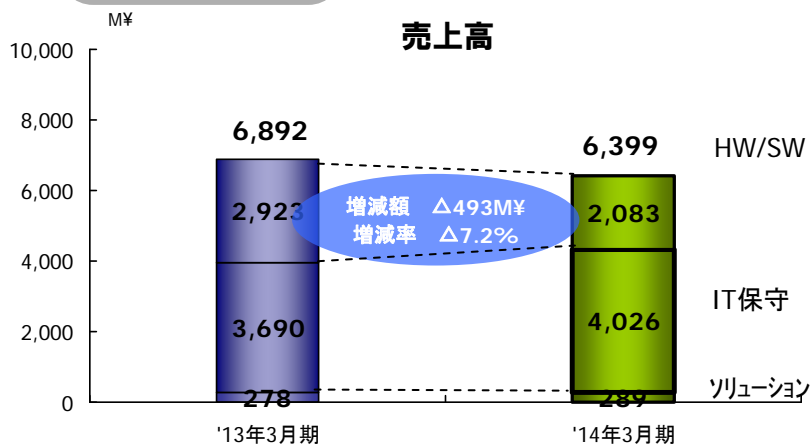
[売上]

➤ 開発サービス

- ・ 先送りされてきたシステム更新などの、金融機関向け基盤系案件が引き続き好調
- ・ 新規開拓による公共向け大型請負案件の受注
- ・ 既存及び新規顧客開拓による非金融業向け案件の受注拡大

セグメント別業績ポイント(前年同四半期比)

ディーラー事業



[総括]

HW/SW販売の減少により減収となるも、IT保守の売上増や利益率改善が寄与し黒字転換に

[売上]

- HW/SW販売
 - ・ 証券業向け案件などで受注が回復するも、銀行向け大型案件の一部に期ズレが発生
 - ・ クラウドの活用などにより案件の減少や小型化が影響
- IT保守サービス
 - ・ 引き続き価格の低減要請などの影響があるも、契約内容の見直し等による受注継続を推進
 - ・ 金融機関の営業店向けネットワーク機器更改案件が引き続き好調
- ソリューションサービス
 - ・ 自治体向けシステム更新案件の受注が堅調

主なニュースリリース/お知らせ

2013年4月～6月

2013/04/25	社外取締役候補者選任に関するお知らせ
	子会社の役員の異動に関するお知らせ
2013/05/07	統合リスク管理レポートvol.09 「ビジネス戦略策定について考えた」
2013/05/13	ラック、コールセンターのオペレータ評価を支援するシステムを提供開始
	平成25年3月期 決算短信[日本基準](連結)
2013/05/15	役員の異動に関するお知らせ
	剰余金の配当に関するお知らせ
2013/05/20	株式会社ラックと株式会社セキュアソフトがセキュリティ監視・運用サービスの提供を軸とした販売・技術協力の契約を締結
2013/05/21	定款の一部変更に関するお知らせ
2013/06/12	人事異動および子会社の役員の異動に関するお知らせ
2013/06/14	「JSOC 侵入傾向分析レポートVol.19」を公開
2013/06/21	支配株主等に関する事項について

主なニュースリリース/お知らせ

2013年7月～9月

2013/07/10	【「Googleグループ」における意図しない情報公開に関する注意喚起】のお知らせ
2013/07/16	【Apache Struts2 の脆弱性(S2-016)を悪用した攻撃の急増について】のお知らせ (07/18に更新情報を公開)
2013/07/17	統合リスク管理レポート Vol.10「突如発生するセキュリティインシデントへの備え方」
2013/07/19	情報提供に関する拡充計画のお知らせ
2013/08/06	IT技術およびセキュリティの情報を掲載した「ラックレポート 2013 SUMMER」を発行
2013/08/07	平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
2013/08/08	JSOCの新しいレポート「JSOC INSIGHT 2013 vol.1」を公開
2013/09/12	「9月18日に関連したサイバー攻撃に関する注意喚起」情報公開のお知らせ (09/18、09/24に更新情報を公開)
2013/09/19	「Internet Explorerの「ゼロデイの脆弱性」を悪用した攻撃に対する注意喚起」情報公開の お知らせ (10/15に更新情報を公開)

1. 2013年3月期 通期決算概要

2. 2014年3月期 連結業績予想

5月15日公表の連結業績予想から変更ありません

3. 2014年3月期 経営方針/事業重点施策

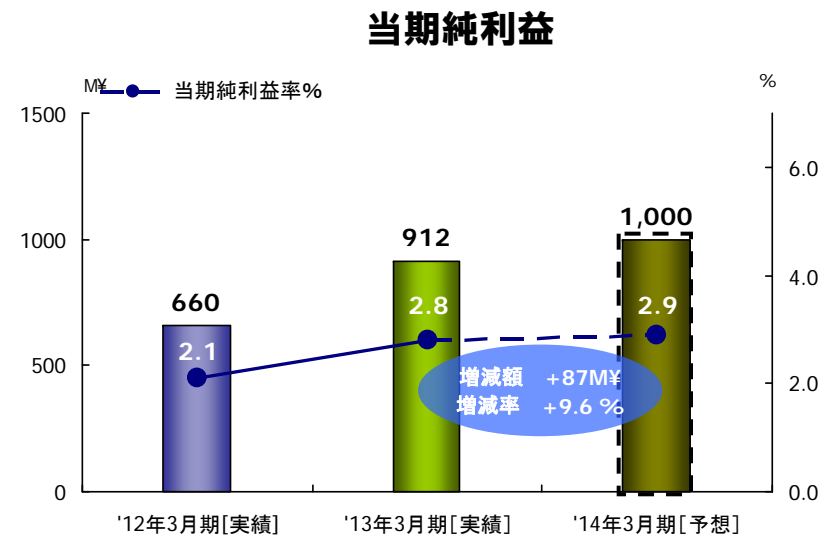
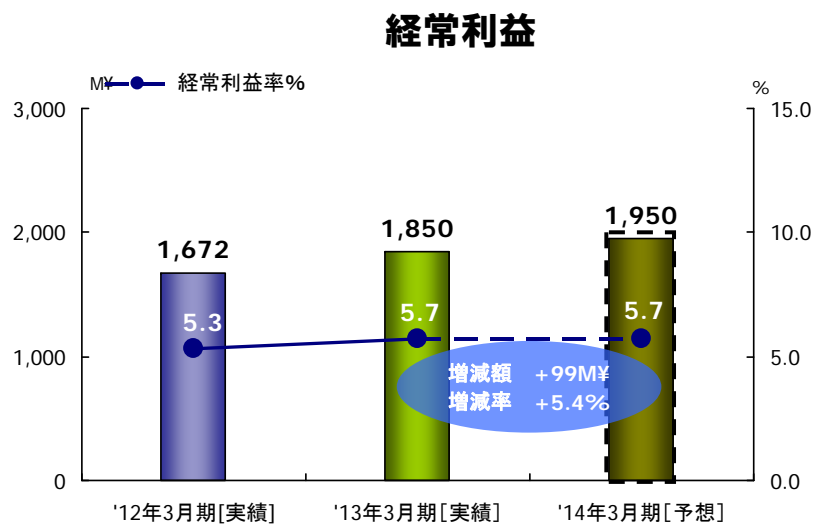
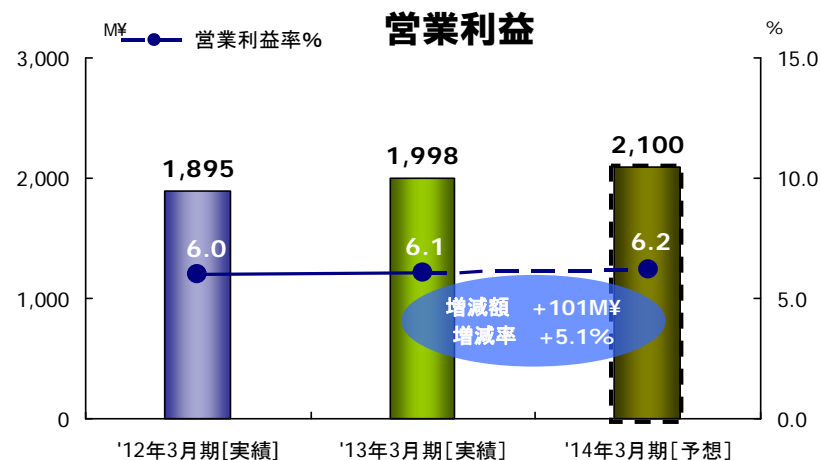
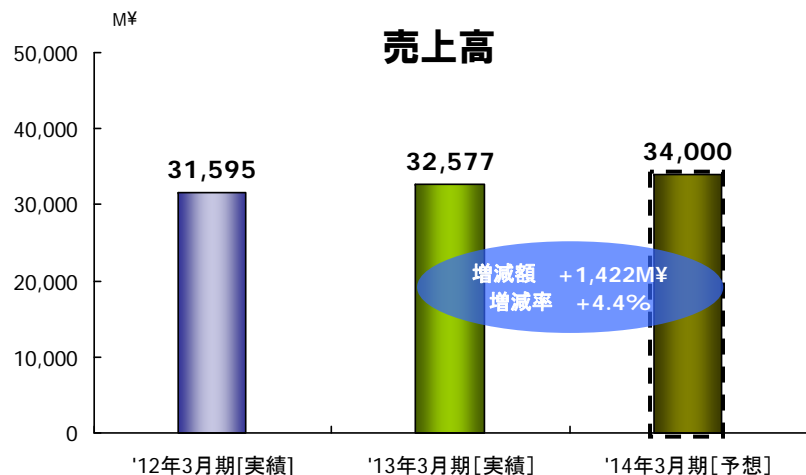
連結業績予想

通期

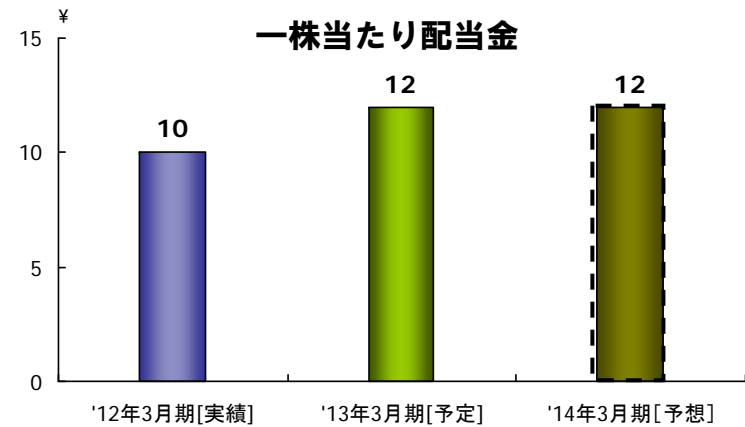
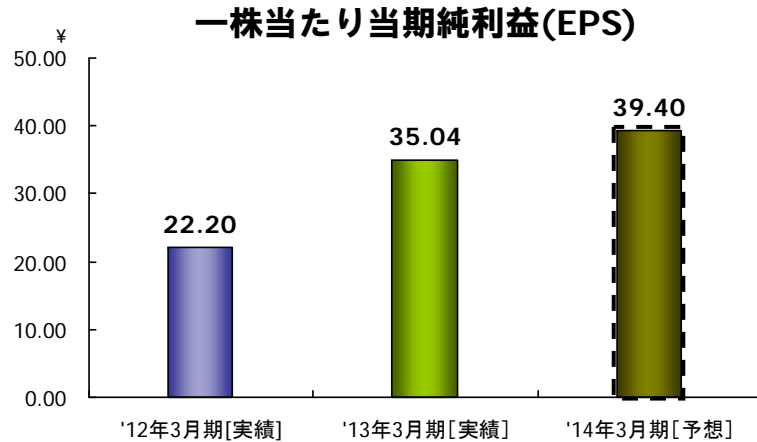
(百万円)

科目	'13年3月期	'14年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
売上高	32,577	34,000	+1,422	+4.4
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	5,146	5,700	+553	+10.8
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	12,684	12,700	+15	+0.1
ディーラー事業	14,746	15,600	+853	+5.8
売上総利益	6,937	7,235	+297	+4.3
売上総利益率%	21.3	21.3	+0.0p	-
営業利益	1,998	2,100	+101	+5.1
営業利益率%	6.1	6.2	+0.1p	-
経常利益	1,850	1,950	+99	+5.4
当期純利益	912	1,000	+87	+9.6
1株当たり当期純利益(EPS)	35円04銭	39円40銭	+4円36銭	+12.4
1株当たり配当金[期末]	12円	12円	-	-

連結業績予想



連結業績予想



セグメント別業績予想

通 期

(百万円)

売上高	'13年3月期	'14年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	5,146	5,700	+553	+10.8
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	12,684	12,700	+15	+0.1
ディーラー事業	14,746	15,600	+853	+5.8
合計	32,577	34,000	+1,422	+4.4

1. 2013年3月期 通期決算概要

2. 2014年3月期 連結業績予想

5月15日公表の連結業績予想から変更ありません

3. 2014年3月期 経営方針/事業重点施策

基本方針は「3本の矢」



**独自性があり
かつ安心安全なサービスを創造し
市場に提供し続ける**



第一の施策；独自性

「ビジネスデベロップメント本部」を新設

～ 独自性を築く新しいビジネスモデルを創出 ～

「進化し続けること」を「独自性を発揮する」と捉え、

3事業におけるビジネス企画機能を統合した新組織を設立。

情報・知識・経験を共有し集約することで、ラックの新しいビジネスモデルを創出し、

次世代の柱に育て上げていく。

システム開発事業：
カスタマーセンター
対応評価システム

システム開発事業：
ビッグデータ
活用支援システム

システム開発事業：
Notes延命
ソリューション



第二の施策；安心安全

情報セキュリティサービスを拡充

～ 安心できる品質を保ち続ける ～

現在の社会において「情報セキュリティ」は「社会にとってなくてはならない」存在である。

ラックは安心できる社会インフラを支えていくため、
情報セキュリティサービスのさらなる拡充を図っていく。

セキュリティ事業：
新規デバイスへの
積極的な対応

セキュリティ事業：
内部セキュリティ
監視システム

セキュリティ事業：
セキュリティ・パフォーマ
ンス診断サービス



第三の施策；市場展開

営業の一本化

～ 3事業の顧客基盤の共有化 ～

「独自性」と「安心安全」を具体化したサービスやソリューションを、

営業の一本化により共有化された顧客基盤に展開。

新規市場の開拓や大企業へのアカウント営業などにより、

さらに顧客市場を広げる。

ビッグデータ
×
内部監視ソリューション

Notes延命
×
DMEソリューション

セキュリティ運用
×
システム運用

事業重点施策

SSS事業

市場環境

標的型サイバー攻撃や官公庁・企業のホームページ改ざん、個人情報漏えいなどセキュリティ関連の事件・事故は後を絶たないなか、引き続き市場は拡大すると思われる。一方で競合他社の新規参入や再参入の動きも活発化し、先進性や独自性が求められる新たなステージになると予想。

重点施策

■ 監視サービスの強化

- ◆ 監視対象機器の拡充（ラインナップの拡大）
- ◆ 監視サービス販売の強化

■ 大型案件の獲得

- ◆ 上流コンサルティングから参画
- ◆ 案件に特化したソリューション（プレミアムソリューション）の提供

■ 日本政府への協力推進

■ 海外ベンダーとの協業

事業重点施策

SIS事業

市場環境

金融系の大型案件が見込まれるものの、企業のIT投資は依然として慎重な姿勢が残り、コスト削減のみならず企業成長と経営効率の両立が求められる。こうしたなか、ビッグデータソリューションやモバイル端末に関わる構築案件など、引き続き多様な技術への迅速な対応が必要と予想。

重点施策

■ 市場開拓

- ◆ 得意とする金融向け案件の深堀
- ◆ 非金融、特にIT関連企業の開拓
- ◆ 他事業との顧客基盤の一元化（SSS事業の緊急対応サービスのアフターフォロー案件など）

■ 大型案件の獲得

- ◆ パートナーシップ強化による受注
- ◆ ソリューション技術力による受注
- ◆ ソリューションベンダーとの協業

■ ミドルマネジメントの育成

事業重点施策

ディーラー事業

市場環境

主要ベンダーの業績も厳しい状況にある中、物販は昨年並みと考えられる。サービスに関しては主要ベンダーやSierとの協業が進み、市場は回復傾向にあると予測。

重点施策

- 営業、SEの統合によるワンストップ化の推進
- ベンダーおよびSierとの協業推進
 - ◆ Sierとの新たな協業スキームの刈り取り
 - ◆ 主要ベンダーへの提案型協業のさらなる推進
- 営業基盤の再構築
 - ◆ 営業主導によるプライム案件の獲得
 - ◆ 大手ベンダーとの協業拡大による大型案件への参画
 - ◆ 金融、流通分野に加え、製造、通信メディア分野への市場拡大
 - ◆ 中堅Sierとのリレーション強化による市場のさらなる拡大

本資料は、現時点における情報に基づいた将来に関わる予測が含まれております。それらは今後の経済状況や情報サービス業界の動向などにより変動する可能性があります。従って、当社が本資料によって投資等判断の確実性を保証または約束するものではありません。予めご承知おきください。

IRお問い合わせ窓口：経営企画室 | IR広報部

Tel: 03-6757-0107

Fax: 03-6757-0101

E-Mail: ir@lac.co.jp